

会 議 録 (1)

| | |
|------------------|--|
| 会 議 の 名 称 | 令和元年度 第2回 入間市廃棄物減量等推進審議会 |
| 開 催 日 時 | 令和2年1月31日(木) 午前10時00分 開会・午前11時40分 閉会 |
| 開 催 場 所 | 入間市リサイクルプラザ 2階研修室 |
| 議 長 氏 名 | 入間市廃棄物減量等推進審議会 会長 小林昌幸 |
| 出席委員(者)氏名 | 奥山重信 小野吉雄 小林昌幸 三枝孝子 篠塚玲子 多田ひとみ 手島吉紀 永井健一 沼井里恵 三木敏正 向野康宏 森谷秀一 山本有男 |
| 欠席委員(者)氏名 | 剣持和夫 |
| 説明者の職氏名 | 環境経済部参事兼総合クリーンセンター所長 守屋俊久 環境経済部副参事(清掃指導・ごみ減量推進担当) 兼宮寺清掃センター所長 水村章一 総合クリーンセンター(事務局) 主 幹 松落義夫 総合クリーンセンター(事務局) 主 幹 山川博志 総合クリーンセンター(事務局) 副主幹 新 郁夫 総合クリーンセンター(事務局) 副主幹 平井素明 |
| 会 議 次 第 (公 開) | 1 開会 2 あいさつ 会長あいさつ 3 諮問事項に対する審議 (1) 入間市一般廃棄物処理基本計画の策定について (2) 入間市災害廃棄物処理計画について 4 その他 5 閉会 |
| 非 公 開 理 由 | |
| 傍 聴 者 数 | なし |
| 配 布 資 料 | 資料 ・入間市のごみ処理の抱える課題 資料 No. 1 ・東松山市台風19号による災害実態 資料 No. 2 ・平成30年度ごみ減量・資源化に関する行動結果報告書 12、13 ページ 資料 No. 3 ・講演会で講師の滝沢氏の新聞記事 資料 No. 4 |
| 事務局職員職氏名 | 環境経済部部长 長谷川功 環境経済部次長 西澤章 環境経済部参事兼総合クリーンセンター所長 守屋俊久 環境経済部副参事(清掃指導・ごみ減量推進担当) 兼宮寺清掃センター所長 水村章一 総合クリーンセンター(事務局) 主幹 松落義夫 主幹 山川博志 副主幹 新郁夫 副主幹 平井素明 |
| 会議録作成方法 | 要点筆記 |

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

諮問事項に対する審議の前に、第1回で諮問した内容について、答申を令和2年9月末までとしたが、スケジュールの再検討の結果この期日までに間に合わないことが明らかとなったため、期限を設けない形での諮問書に差し替えをした。

○諮問事項に対する審議

(1) 入間市一般廃棄物処理基本計画の策定について

この計画の策定支援ということで、コンサルである株式会社日水コン中村氏より概要についての説明を行った。

(2) 入間市災害廃棄物処理計画について

埼玉県一般廃棄物連合会副理事長の加藤氏より令和元年10月に起きた台風第19号で甚大な被害にあった東松山市の状況などについて報告し、計画の必要性の説明を行った。

○その他

第1回の審議会での手島委員からの質問について、事務局水村副参事より回答を行った。

※次回会議は令和2年3月を予定。

以上

会 議 録 (3)

| 発 言 者 | 発 言 内 容 |
|-------|---|
| 事務局 | <p>1 開 会 (配布資料の確認を含む。)</p> <p>2 あいさつ</p> |
| 会長 | <p>会長あいさつ</p> |
| 事務局 | <p>諮問事項に対する審議に入ります前に、前回、第1回で諮問をいたしました が、諮問書の最後に、答申を令和2年9月末までにお願ひしますと記載さ せていただきました。これは、皆様の任期が令和2年9月まででしたので、 それに合わせて答申をと当所考えておりましたが、スケジュール調整等を再 度精査した結果、このスケジュールでは間に合わないと判断しましたので、 期限を設けない形での諮問書に差し替えをさせていただきたいと思ひますの で、よろしくご承知おきください。</p> <p>それでは、これより会議に入らせていただきます。「入間市廃棄物減量等 推進審議会条例第6条第1項」の規定により、会長が議長となる旨が定め られておりますので、会長にて以後の進行をお願ひいたします。</p> |
| 会長 | <p>それでは、規定に基づき議長をつとめさせていただきます。</p> <p>本日の出席委員の人数は、13名です。よって、「入間市廃棄物減量等推 進審議会条例第6条第2項」の規定に基づき、委員の半数以上が出席 されておりますので、会議は成立となります。</p> <p>続きまして、本日の会議録の署名について、「議長のほかに1名以上 ということですので、名簿順で今回は三枝委員にお願ひしたいと思ひ ます。ご異議ありませんか。</p> |
| 会長 | <p>【委員】 「異議なし」の声</p> |
| 事務局 | <p>それでは、議事に入ります。次第の3諮問事項に対する審議としま して、はじめに(1)の『入間市一般廃棄物処理基本計画の策定につ いて』事務局より説明願ひます。</p> <p>この計画につきましては、計画策定支援ということで、コンサルで あります株式会社日水コンへ委託しております。本日は、この計画の 必要性や策定の背景などについて、株式会社日水コンの中村氏より概 要説明をお願ひします。</p> |
| 会長 | <p>【株式会社日水コン中村氏より計画の概要説明】</p> <p>ただいま株式会社日水コンの中村氏から説明がありましたが、委員 の皆様より質問等ござひますか。</p> |

| 発 言 者 | 発 言 内 容 |
|-----------|--|
| 委員 事務局 | 株式会社日水コンとはどのような会社ですか。 |
| | 入間市として、この計画の策定支援の委託先として株式会社日水コンにお願いしたものです。 |
| 日水コン | 会社の概要として、上下水道、環境等様々な計画についてのコンサルタントを行っている会社です。埼玉県内でも狭山市、川越市、熊谷市等で計画の支援を行っている。 |
| 委員 | 資料7ページのグラフで赤が平均で青は何だったのでしょうか。 |
| 日水コン | 入間市の値を置き換えたものです。 |
| 委員 | 赤の平均に対し、青の意味はどういったものか。 |
| 日水コン | 指標化したものとして、良いものを大きく表記した。この表が大きいほど良い傾向にあると言える。逆に中に絞られるほど悪い状況にあると言える。 |
| 委員 | 大事なのは食品ロスだとかマイクロプラスチックだと言われたと思うが。 |
| 日水コン | 大事というか、そのことが今回の計画策定のテーマになるのではと考えている。 |
| 委員 | それについての数値がないがどうなのか。 |
| 日水コン | 入間市独自で調査等していないため数値がないので、具体的にお示しできていない。 |
| 委員 | 調査しないのか。 |
| 日水コン | 今回はできないのでは、他の市町村や国で行ったデータを参考に検討することとなると思う。 |
| 委員 | 家庭系食品ロス半減とかいてあるが、基本となるベースのデータが必要ではないか。入間市としてのデータがないのであれば、食品ロス、マイクロプラスチックがメインと決めてしまってよいものか。 |
| 日水コン | 決めているわけではなく、このようなことがテーマになりそうだといいことで頭出しをさせていただいているので、今後、検討する段階で具体的にお示しさせていただきたい。 |
| 委員 | 数値で見る限り、目標達成ができていないと思われるがそれはなぜか。 |
| 日水コン | それがなぜかというのはこれから突き詰めていくことになる。 |
| 委員 | それに対する提言もでてくるわけですね。 |

| 発 言 者 | 発 言 内 容 |
|-------|---|
| 日水コン | そうなると思います。 |
| 委員 | 入間市と日水コンとの契約はどこまで関与することになっているのか。計画ができるまでということになるのか。 |
| 事務局 | 市の契約としては、年度別の契約となる。今年度は計画の大枠を作ることとなります。 |
| 委員 | 資料2 ページごみ問題の現状で、高齢化社会に対応した廃棄物処理体制とあるが、地区で高齢化はキーワードとなっている。具体的にどのようなことですか。 |
| 日水コン | 今、一部の自治体でふれ合い収集など実施しておりますが、高齢者でごみ出しが困難な方をいかにサポートしていくかという取り組みがなされています。 |
| 委員 | 入間市でも近隣助け合いということが行われていますが、そのようなことでしょうか。 |
| 日水コン | そうなります。そのほかにも提案させていただきます。 |
| 委員 | 資料2 ページ上段の資源生産性、入口側の循環利用率と下段のシェアリング等の2Rビジネスの促進とはどのようなことですか。 |
| 日水コン | 資源生産性とは、ある資源を投入したときにいくら儲けられるかといったものです。入口側の循環率とは、出口側として燃やしてしまえば減ってしまうごみについて、例えば入口側で100%投入して出口で30%となる。70%は無くなってしまふことで循環利用率という表現である。2Rとはリデュース、リユースとして使えるものをそのまま使う。シェアリングとは何人かで使いまわすということでごみとして出さずに使うことでごみを減らすという考え方です。 |
| 委員 | 入口側の循環利用率の18%とはどのような意味か。 |
| 日水コン | ごみの量100に対して18%はリサイクルしましょうという数字です。 |
| 委員 | 資料7 ページの上段のグラフは何年度のものですか。 |
| 日水コン | 平成29年度の数値です。 |
| 委員 | 資料2 ページで家庭系食品ロス量半減とありますが、具体的に取り組みそうでしょうか。 |
| 日水コン | 今の計画でこのような項目が上がっていますが、今後この審議会の中で検討していただきたい。 |

| 発 言 者 | 発 言 内 容 |
|-------|---|
| 委員 | 国は何省が担当となりますか。 |
| 日水コン | 国は環境省が担当となります。 |
| 委員 | 資料2 ページの下段でマイクロプラスチックを含む海洋ごみの対策として、30年後には一杯になると思われませんが、資料3 ページの下段の海岸に漂着したプラスチックごみの写真がありますが、これらの出どころはどこなのか。 |
| 日水コン | 調査する場所でさまざまですが、例えば日本海側は韓国から流れてきているものもあります。太平洋側の関東近辺では国内の物になります。何が問題かというと流れている間に細かく砕かれて漂着し、また波にさらわれ流れて行くということが起きています。 |
| 委員 | お願いとして、次回までに日水コンにどのようなお願いをしているのかと日水コンの簡単な会社の概要を教えてください。 |
| 委員 | 廃棄物全体の量を削減することについて、食品ロスとそれ以外のごみとの分け方はどのように統計を取っているのか。 |
| 日水コン | 統計の出し方として、家庭から出てきたごみを仕分けして調理くずなのか食品そのままなのかを実際調査する場合は仕分けします。 |
| 委員 | 調査は全てを対象に行いますか。 |
| 日水コン | 実際には、100kgから150kgをばらして仕分けしてその中で実際にどのくらいの量があるのか、それを何カ所か実施してその平均的な数字を出していく。 |
| 委員 | 調査は袋を開けてまで誰がやるのか。 |
| 日水コン | 調査会社がやります。 |
| 会長 | 他になければ、次に(2)『入間市災害廃棄物処理計画について』事務局より説明願います。 |
| 事務局 | <p>この計画につきまして、埼玉県一般廃棄物連合会の副理事長加藤氏をお呼びしており概要説明をお願いしたいと思います。加藤氏は、昨年の台風19号で大きな被害にあいました東松山市へ行き、災害廃棄物の処理など復興支援に当たられました。また、災害廃棄物処理計画の策定に熟知しているところから、オブザーバーとしてご出席いただいております。それでは加藤様お願いします。</p> <p>【埼玉県一般廃棄物連合会副理事長加藤氏より東松山市の現状や計画に対する必要性等について説明を行った。】</p> |

| 発 言 者 | 発 言 内 容 |
|-----------|---|
| 会長 | ただいま埼玉県一般廃棄物連合会の加藤氏から説明がありましたが、委員の皆様より質問等ございますか。 |
| 委員 事務局 | 資料18ページ未計画40%とあるが、入間市もこの中に入りますか。昨年から実施しておりまだ終わってない状況です。 |
| 委員 | この資料は東松山市の物なので、入間市と違いがあると思うがどのように比較するのか。 |
| 加藤氏 | 人口比率で出せるものではありません。地域性がある。人口が密集しているところなどでは大きな被害となる。 |
| 委員 | 対応できる車両の数が多ければ多いほど復旧にかかる期間は短くなると考えてよろしいか。 |
| 加藤氏 | 車両の数よりも動きやすい車両が多い方がいい。軽トラックがよい。あまり大きい車両は現場に入れなかつたりするので、難しい部分もある。状況にあった車両が何台準備できるかにもよる。 |
| 委員 | 仮置き場に廃棄物を持ってきて分別をするようですが、そのあと最終的にはどのように処分しますか。 |
| 加藤氏 | 可燃ごみはクリーンセンターへ持ち込めるが、そうでない家電等は中間処理業者、産業廃棄物を扱う業者へ持っていかなざるを得ない。 |
| 委員 | 東松山市の仮置き場は災害の前から場所を決めていたのか、災害がおきてからきめたのか、どちらでしょうか。 |
| 加藤氏 | 仮置き場は事前に決めておきました。 |
| 会長 | ありがとうございました。それでは審議については終結させていただきます。以上で議長の責めを解かせていただきます。ご協力ありがとうございました。 |
| 事務局 | 続きます、次第4の『その他』ですが、報告したいことが3点ほどあります。一点目が前回、第1回の会議にて、ごみ減量資源化に関する行動計画の質問について、No. 22の評価を◎から○へ変更させていただきます。No. 24ビンの収集量が減ったことにより資源化率も減少いたしました。二点目は3月17日に行う講演会についての案内。三点目は次回の審議会について3月に予定している。 |
| 委員 | 次回以降も一般廃棄物と災害廃棄物の両計画を同じ日に実施していくのか。それから、資料は事前に配布していただきたい。 |
| 事務局 | 資料につきましては、事前にお配りするようにいたします。会議に |

| 発 言 者 | 発 言 内 容 |
|--|--|
| | <p>つきましては、次回の会議でスケジュールをみなさまにお知らせし進めて行きたいと思います。</p> <p>それでは、以上をもちまして本日の会議を終了とさせていただきます。ありがとうございました。</p> |
| <p>議事の内容・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p>令和 年 月 日</p> <p>議 長 の 署 名 _____</p> <p>議長が指名した者の署名 _____</p> | |